

<仮訳>

日EUビジネス・ダイアログ・ラウンドテーブル

2008年7月3日-4日、東京

プレスリリース

“提言書”

1. はじめに

北海道洞爺湖において開催される先進国G8サミットに先立ち、2008年7月3日～4日の両日、東京にて「日EUビジネス・ダイアログ・ラウンドテーブル」年次会議が開催された。日本電気会長の佐々木元氏及び Delhaize グループ会長・UCB 名誉会長のジョルジュ・ジャコブ男爵が共同議長を務めた。両共同議長は、7月4日、日・欧両政府首脳である、福田康夫日本国首相、ヒュー・リチャードソン駐日欧州委員会代表部大使並びにフィリップ・フォーレ駐日欧州連合理事会議長国代表に BDRT 提言書を手交した。

日本とEUは共通の政治基盤と価値観を有し、世界のGDPの40%を占めている。このような世界経済が困難な問題に直面している現状において、BDRTは将来において、日、EUが従来以上に緊密に連携することを求める。

1. BDRT が、WTO・DDA 交渉の強力な支持者として、欧州委員会ならびに日本政府に対して、引き続きこの野心的交渉が年内に締結されるために最大限の努力を発揮することを要請する。
2. 昨年ベルリンで開催された BDRT 本会合を受け、本年、BDRT は、より深化した日・EU 間の経済協力につき、イノベーション、環境、投資、サービス、規制協力、移動、安全・安心、政府調達分野を中心に具体的な提言を行った。
3. ポスト京都議定書の枠組みにおいては、米国、中国、インドを含む全ての主要排出国の参加を求めた。加えて、これらの国々は合理的で実現可能性のある中・長期的でグローバルな温室効果ガス（GHG）の排出削減につきコミットすべきである。
4. BDRT メンバーは、更に、イノベーティブな社会を推進し、新興経済地域との世界的統合への挑戦に取り組むことに関して意見交換した。そして、BDRT は、日・欧両政府に対して将来より緊密に協力して事に当たることを要請した。

5. BDRT のワーキング・パーティーは、以下の分野に関して簡潔な報告を発表した：貿易・投資、会計・税制、ICT（情報通信技術）、WTO、生命科学とバイオテクノロジー、持続可能な発展。各々の報告書は日・欧間で経済協力を深化させるための具体的な提言を含んでいる。

次回の BDRT 年次会合は 2009 年の後半に欧州で開催される予定である。

メディア連絡先： 日欧産業協力センター/EU-Japan Centre for Industrial Cooperation  
日本事務所： チーフ・オフィサー 佐藤桂子  
Tel: 03 3221 6161 E-mail: [eujapan@eu-japan.gr.jp](mailto:eujapan@eu-japan.gr.jp)  
欧州事務所： 所長 ディアンヌ・ヴァン・ボクスタル  
(Mrs. Diane Van Bockstal, Director)  
Tel: +32 2 282 0040 E-mail: [office@eujapan.com](mailto:office@eujapan.com)  
ビジネス・ヨーロッパ カーステン・ダンヌール  
Tel: +32 2 237 65 04 E-mail: [c.dannoehl@businessseurope.eu](mailto:c.dannoehl@businessseurope.eu)  
株式会社 東芝： 社会・産業部産業関連担当 藤巻義恭  
Tel. 03 3457 8366 E-mail: [yoshiyasu.fujimaki@toshiba.co.jp](mailto:yoshiyasu.fujimaki@toshiba.co.jp)  
BDRT ホームページ： <http://www.eujapan.com/europe/roundtable.html>